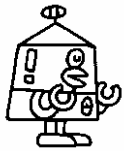


小 / 理科 / 5年 / 生物と環境 /
植物の花と実 / 理解シート

クりに花はさくの、花のどこが実になるの



ク리는、め花とお花があり、め花に花粉がつくと、めしべの根もとがふくらんで、クリの実ができるよ。

ク리의花は、め花とお花があり、花の形がちがう

ク리의花は、6月ごろさきます。春からのびた新しい枝の先の方に、クリーム色のモールのような細長いふわふわした花ふさがたくさん目につきます。これは、お花です。よく探してみると、お花のふさがついた枝の下の方に、小さいがのようなめ花が、1つずつ散らばってついているのが見つかります。

ク리의め花は、1つの花の中に3個入っている

とげが大きくなっため花をたてに切ってみると、3個のめしべが入っているのがわかります。1つのめ花のように見えたけれど、じつは3つのめ花が緑色のとげにつつまれたものだったのです。

め花のてっぺんの細いとげのようなものは、お花（おしべ）の花粉を受け取る、めしべの先なのです。花粉がめしべにつくと、根もとがふとってきます。そして、外側のとげはいがになり、1つのいがの中に3個ずつ、クリの実がなるのです。

